

## (第七期) 第7回南部町行財政運営審議会会議録

日時 令和6年12月20日(金) 午後2時～午後3時15分

場所 南部町役場天萬庁舎 2階会議室

出席委員：西谷公志、糸田雅樹、篠田貴士、山中文雄、赤井伸江、山本明雄

(委員敬称略)

出席者：本田総務課課長補佐、

配布資料：資料1（実施目標策定の取り組みについて）

資料2（第五期行政改革プラン実施目標）

資料3（第五期行政改革プラン令和6年度目標）

資料4（第五期行政改革プラン令和7年度目標）

| 発言者         | 内 容   |
|-------------|---|
| 【開会】<br>事務局 | 第51回行財政運営審議会を始めます。  |
| 会長          | 会長あいさつ  |
| 事務局         | <p>昨年度皆様にご議論いただき策定しました「第五期行政改革プラン」の具体的な実施目標案を作成しましたので、委員の皆様にご意見を伺いたいと考えております。</p> <p>まず、実施目標案の作成にあたってこれまで行革担当者が目標を立てての取り組みをしておりましたが、今回は課長補佐級・主幹級以上の職員及び南部町職員労働組合に参加をいただき実施委員会を立ち上げました。</p> <p>この委員会で、職員目線でそれぞれの取り組み項目に対して目標を立てていこうという話し合いを行いました。</p> <p>第1回会議を8月に開催し、その後、プランの柱に沿ったグループ（財政構造改革グループ、行政運営改革グループ、行政サービス改革グループ）に分かれて、各グループで討議をいただきました。この中で計画期間における到達点及び令和6年度における到達点等について意見交換を行っていただきました。</p> <p>6年度から8年度までの実施目標についても話し合っていただきました。</p> <p>本日は、この内容について「もっとこのような目線があったほうがいいのではないか」、「このようなベンチマークがいるのではないか」といった意見を伺いたいと思います。</p> <p>また、行政運営改革の目標に「業務改善WTの意見を踏まえ業務の見直しを実施」と記載しておりますが、これは行革とは別にデジタル推進課を中心にDXを活用して業務改善を図ることを若手の職員を中心として業務等に対する課題の洗い出しとその対応について意見交換を行い、最終的に成果と今後の展望としてまとめられています。</p> <p>このWTの取り組みの中で働き方等についてどのように思っているのか、どのように改善すべきなのかについての意見をまとめていただいておりますので、こちらを行革の項目に取り込んで進めていきたいと考えています。</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>続いて、プランの実施目標案についてご説明します。</p> <p>資料2に各年度の実施目標案を記載しております。</p> <p>(1) 財政構造改革 ①事務事業の見直しについて</p> <p>現在、各種事業を予算事業説明書で管理をしていますが、WTにおいて予算事業説明書あるいは決算事業報告書では事務事業評価がしにくい面があるとの意見が出されました。そのため今年度において改めて事務事業とは何かについて再確認した上で、事務事業評価できる体系として事業説明書等をどのように活用するのかも含めて体系化を図り、7年度以降その内容をチェックし、事務事業の成果目標がわかりやすい内容にブラッシュアップしていくとしました。</p> <p>これについては、改善等には時間が必要だと考えていますので、今回のプランの期間中での完成はなかなか難しいと考えていますので、継続して行う必要があると考えています。</p> <p>(1) 財政構造改革 ②公共施設の効率的・効果的な管理運営について</p> <p>今後少子高齢化が一層進むと思われるなかで、今後の施設の管理の在り方（継続するのか、廃止するのか又は民間等に譲渡するのか）を検討が必要であるとのことから、令和6年度において、令和2年度に策定した個別施設計画を改定し、各施設の方向性を改めて確認する作業を行っています。</p> <p>以後は、この計画に定めて方向性（継続、廃止、民間移管）を実現する策を講じていきたいと考えています。</p> <p>併せて、施設の管理方法として指定管理制度を導入していますが、施設の性質によっては指定管理以外の管理方法（例えば包括的業務委託など）ができない課を検討する必要があると考えています。</p> <p>施設を指定管理により管理する又は他の方法で管理するといった判断の基準として指定管理ガイドラインを今年度策定し、個別施設計画に記載した施設の在り方を踏まえて、管理方法を決定し運用していきたいと考えます。</p> <p>(1) 財政構造改革 ③補助事業の見直し</p> <p>町が単独で実施している補助事業について、その現状を今年度で把握し、①事務事業の見直し・整理とあわせて補助事業をどのようにするかを検討したいと考えています。</p> |
| 事務局 | <p>(2) 行政運営改革 ④職員の能力が発揮できる組織体制の確立、<br/>⑤職員が働きやすい職場環境の構築、⑥業務手法の見直しについて</p> <p>冒頭にお話しした業務改善 WT で出された意見もふまえて、令和6年度に業務体制等の課題を抽出し、その課題解決のための取り組みを7年度以降に行っていきます。また長時間労働・休日勤務の状況を把握し、長時間労働となる原因等について該当する職員に聞き取りを行った上で、業務改善と合わせて労働時間短縮に向けた業務の見直しを行いたいと考えております。</p>  |
| 事務局 | <p>(3) 行政サービス改革 ⑤時間・場所にとらわれない行政サービスの提供について</p> <p>近年、デジタル技術の進歩により役場に来られなくても提供できるサービスが開発されており、南部町においても税金及び各種料金のコンビニ支払いや住民票等のコンビニ交付ができるようになっています。</p> <p>また、各種申請についてもマイナポータルやとっとり電子申請サービスの利用により、PC やスマホから申請することができるものも増えている状況です。</p> <p>そのようななかで、町民の皆さんに利用していただき、利便性を感じていただくために現在の状況や利用されている町民や職員の意見を確認し、利用範囲の拡大や改善を図っていきたいと考えています。</p> <p>なお、資料3には今年度（令和6年度）の目標に対する到達点を記載していますので、こちらも併せて皆様から意見をお願いしたいと思います。</p>  |
| 会長  | 委員の皆様から意見・質問はありますか。   |

|      |  |
|------|--|
| A 委員 | 今回の目標についても数値的なベンチマークが示されていないので、マイルストーン（中間目標地点）が決まらないのではないか。<br>KPI を示してそれに基づいて進捗管理を行わないと、前回（第四期プラン）のように感覚的な評価しかできないと思うし、我々も評価できないと思う。  |
| 事務局  | 事務事業の整理など目標を数値化しにくい部分もあって、概念的な目標となっていますが、例えば施設を何か所削減するとか残業時間を何パーセント削減しますといった目標建てはできると思います。<br>特に残業時間については、今年度新たに庶務管理ができるシステムを導入しましたので、各職員がどの程度時間外や休日勤務を行っているかを数値で確認できるようになりました。<br>今年度の労働時間が集計できましたら、状況がわかるので該当の職員に状況を聞き取り、どの程度の削減が必要かを検討できると考えています。               |
| A 委員 | 施設の在り方を検討すると言われているが、令和2年度に個別施設計画を策定されてからこれまでなぜ検討を行っていなかったのか。<br>今回もお金をかけて計画を見直して検討すると言われるが、同じことにならないか。   |
| 事務局  | 令和2年度に個別施設計画を策定した目的としては、今後の施設の在り方を方向づけすることもありましたが、あわせて施設整備の財源として「公共施設等適正管理推進事業債」を活用するため、その要件として計画の策定が必要であったこともあると確認しています。<br>また、令和2年度以降に譲渡により廃止した施設もありましたが、委員の言われるように計画的に方針に沿った対応ができていたかというとできていない部分が多かったと思いますので、今回改めて計画を策定し、毎年度計画に定めた方針がどのような状況であるかを確認したいと考えています。 |
| 会長   | 私も行政に携わった経験上、行政としては、目標の記載方法としてはこのようなかたちになるのかなと感じた。<br>ただ、本田補佐ひとりで行革の業務をされている現状の体制では大変だと思うので、専属で行革の業務ができる体制にする必要があると思う。   |
| 事務局  | 体制等については、委員の皆様からあったご意見を庁内で共有したいと思います。  |
| B 委員 | 項目が多いので全部というのは難しいかもしれないが、ひとつずつこなしていくためには、補佐の（行革の業務携わる）時間を増やしていく必要があると思う。<br>また、それを一緒に実行していく職員を何人か確保する必要があると思う。   |
| C 委員 | （行革が推進できる）体制づくりを是非行ってほしい。  |
| D 委員 | 実施目標の内容を拝見していると、補佐が（目標を達成）できるように分配したように感じるが、（体制づくりができると）もっと進むのではないかと思う。  |
| A 委員 | 20年前から同じようなやるべきことは決まっている。あとはその実施がついてきていないと感じる。本当にやるべきなのか、やらないのかを議論すべき。<br>個別施設計画でも各担当レベルで例えば施設を廃止すると方針を検討することはできるが、それを実行するのは（各課レベルでは）難しいと思う。   |
| 事務局  | 施設の在り方については、担当課が出した方向性を実現するにしても、地域との話し合いも必要だと思います。   |
| A 委員 | その中の後押しとして、我々行財政運営審議会の意見も了とされている位置づけもあると思う。それを誰が本気で考えているのかということ。   |
| D 委員 | 各課でやりやすいことは既にスタートしているのですか。   |
| 事務局  | 次のステップにもっていくための仕掛けづくりを行っていると認識しています。<br>個別施設計画は、5年に一度の見直しが必要であることや行革の項目の位置づけとしていますので、少子高齢化社会となっていくなかで、将来的にこれだけの施   |

|      |   |
|------|---|
|      | 設を抱えていけるのかという課題があるため、計画を改定し、施設の方向性を改めて議論していきたいと考えています。  |
| D 委員 | 事務事業の説明の中で、統合を考えているとあった一方、福祉の事業の中にはベクトルがずれているものもあり、ひとつの事業で管理しにくい面もあるとのことでしたので統合すると相反するニュアンスなると思います。<br>そのなかで統合したり、分割したりすることに意味があるのかなと疑問に思いました。あまりそこに力を入れる必要はないのかなと感じました。  |
| 事務局  | (例示とした) 各審議会報酬については、支出費目に着目して統合を考えています。ただジレンマとして感じているのは、予算面で考えると支出費目は報酬だから(事業を)統合する方がいいと考える一方、実施している事業の方向性は異なっているので、どの目線でいくのかが定まっていない部分もあると感じています。事務事業という考え方を研修もしていましたが、なかなか理解しきれていないので、再度整理し、どのようなやり方がいいのかといったところから再スタートするべきではないかと思います。これは、WTの財政構造改革グループでも意見が出ていました。<br>これは一朝一夕できないので、3年間の目標としては実施しますが、ずっとやり続ける必要があると思います。慣れていけばよいものができるのではないかとの意見もグループから出ていました。 |
| D 委員 | そこで業務が削減されれば、職員の労働時間の短縮にもつながると思います。   |
| 事務局  | そこまで力を入れなくてもいい事業に注力して仕事をしたという気持ちになるのは本質とはずれてしまうのではないかと思います。例えば調査といった業務は時間がかかりますし、調査することもあったりしますので、調査を提出した後にはある種の達成感があります。調査業務も仕事ですから必要なのですが、これをやっただけで仕事をやったという気持ちになるのは少し違うと言われています。<br>町民のためにやるべき仕事をきちんと行うことだと思っています。<br>事務事業については、私自身も再度学び直してどのようなものかを理解し、職員と一緒に作り上げていきたいと思います。  |
| 会長   | プランを目標の到達点の横に結果を記載する項目を設けてもらい、その結果を記載してほしいなと思う。<br>最初に申しましたが、行革プランの実施するための体制づくりをきちんと行ってほしいということを審議会の意見として強くお願いしたい。<br>職員の働きやすい職場づくりのところで、長時間労働、休日勤務の多い職員への聞き取りとありますが、残業の多い職員さんに聞き取りを行う場合は、個人を責めるようなやり方をすると精神的なプレッシャーを抱える方もいるので慎重に行っていただきたい。<br>やる気があって能力があって長時間労働をしている職員が潰れてしまう可能性があるので慎重に行ってほしい。<br>根本的な原因を探りつつ、対策を考えるなど細かな配慮がないとうまくいかないと感じる。                    |
| 事務局  | 労働安全衛生委員会と相談しながら進めたいと思います。  |
| D 委員 | 時間外勤務や休日勤務は事前に申請が必要ですよね。  |
| 事務局  | その通りです。<br>土日勤務は振替休日対応です。例外として災害対応と選挙については手当支給を行っています。<br>ただ、土日に上司の許可なく出勤して業務を行っている職員がいないかを注意しなければいけないと思っています。土日勤務する場合は、当然所属長の許可が必要と思っています。<br>これまで、(紙の)代休指定簿で管理をしていましたが、(ORCESSの画面を投影し)このようなシステムで管理を始めましたので、申請がしやすくなつたと思います。   |

|      |   |
|------|---|
|      | 土日に出勤する場合は、宿日直の許可、出勤の打刻   |
| A 委員 | <p>この審議会の体制として、以前の会議に参加されていた坂口さんのように専門家のサポートを受けたほうが良いのではないか。</p> <p>審議会として、専門家のアドバイスを受けるのは重要であると思うし、他の自治体の例も提供していただけるので参考にできると思う。</p> <p>また、この会議にせめて副町長・総務課長には出席していただきたいと思う。</p>  |
| 事務局  | 体制については協議したいと思います。  |
| D 委員 | 最終的にこの資料は公表されるのですか。   |
| 事務局  | <p>ご意見をいただいた上で、課長会で取り組んでいく項目として提出する予定でしたが、今回の意見を踏まえて町長・副町長・総務課長と体制も含めて協議したいと思います。</p> <p>最終的には、職員に向けてどのように（計画を）示して、どのように実施してもらうかが目的ですので、これを活用したいと思っています。</p> <p>また、WT のグループでチェックをしていただきたいと考えています。</p> <p>7年度以降の目標については、6年度出てきたデータをもとに数値化できる目標もあると思いますので、常に変更していくながら実施していきたいと思います。</p> |
| 会長   | 本田補佐にやる気はあると思いますが、物理的にこの体制ができるのか懸念することですので、調整を図っていただきたい。  |
| 事務局  | <p>行革のために（これらの項目を）実践してもらうというより、日々の業務の中で改善すべきとか、こうすれば自分たちの負担が軽くなるのではといったことを、業務の見直しとしてやっていただければ、結果的に行革目標も達成できたという方向で考えていただけだとよいと思いますが、なかなか伝えられていないのが課題です。</p> <p>行革の為にしてしまうと、また余計な仕事を増やしてと負担感を感じてしまいます。</p>   |
| 会長   | 「やらされている感」を軽減するようなやり方が望ましいと思います。  |
| 事務局  | 今回いただいた意見を踏まえて、いろいろと検討したいと思います。   |
|      | ～ 終了～   |
|      |   |